

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

都政に対する基本的な考え方

小池ゆりこ

目指すべき将来像

我々は今、不安と閉塞感に覆われ、未来に希望を見出しにくい困難な時代を生きています。だからこそ、誰もが将来に向けた「夢」を描き、それを実現することの出来る社会、人と人との繋がりが生み出す豊かさを、100年後も全ての人が実感出来る、笑顔に満ち溢れた「世界の都市・東京」を目指してまいります。

現状認識

都民と共に歩んだ2期8年の「東京大改革」の成果により、164項目の政策目標の9割超が着実に進行し、東京は確実に進化をしているものと認識しております。一方、時代が急速に変化する中、立ち止まることは後退にほかならず、改革を更に加速させることが、次世代に向けて今我々が果たすべき責任と考えます。

解決したい課題

不安定な国際情勢等を背景とする物価高、急速に進行する少子高齢化・人口減少、頻発・激甚化する自然災害、世界的に大きく後れを取る性活躍・DXなど、我が国が総力を挙げて向き合うべき課題が山積しており、人・モノ・産業等が集積する東京で特に先鋭化・顕在化するそれらの影響に正面から向き合う必要があります

石丸伸二

世界に誇れる国の首都であり続ける。地方を牽引し、日本の発展を主導する。同時に、持続可能な社会を構築し、世界に範を示す。その中で「学びやすさ」「働きやすさ」「暮らしやすさ」を高め、「世界で一番住みやすいまち」を目指す。

一極集中を前提とする成長に甘んじたため、持続可能な発展から遠ざかっている。過密化によって生じる問題において対症療法を繰り返した結果、資源を浪費するだけでなく、脆弱性が増す事態となっている。この間、非効率な財政が放置され、成長の機会が損なわれている。

一極集中に基づく安易な成長モデルからの脱却と過密に伴う弊害の解消。

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

都政に対する基本的な考え方

蓮舫

これから育つ子供たちが大人になった時、安心して働ける、負担を軽減する仕組みがある東京。若者が、何かを諦めないですむ東京。同時に、もっと多様で生きやすい東京。そんな東京を、私は目指しています。

目指すべき将来像

建築費や人件費の高騰による家賃の値上げに加えて、光熱費、食費、交通費などの生活費の負担が強まっています。東京都は、いわゆる手取り収入から生活費を差し引いた金額では、47都道府県中、最下位です。都民の皆さんの暮らしぶりは、厳しさを増していると言わざるを得ません。

現状認識

東京都の合計特殊出生率は0.99、いずれ人口が半分になるペースです。ただ、この20年間、結婚した女性から生まれる子どもの数は大きく変わっていません。進んだのは非婚化です。結婚するカップルが50年間で半減しました。不安と負担を抱え、結婚や出産を選択できない若者が増えています。必要なのは徹底した若者支援です。

解決したい課題

田母神としお

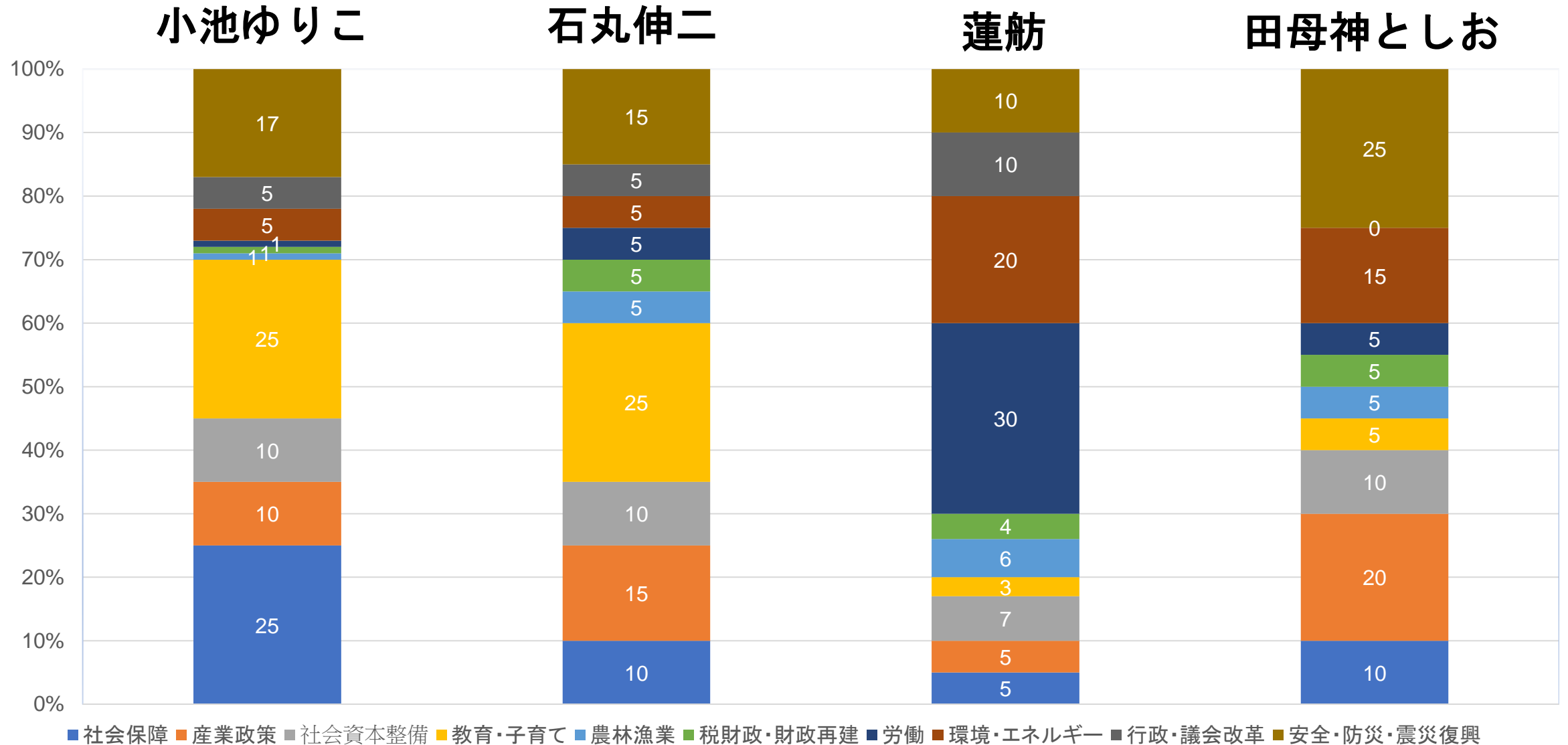
都政の目標は、都民の安全で豊かな暮らしを守ること。おもてなしと言って、給仕の心構えを都民に刷り込ませてはいけません。都民が主役であり、その活力ある暮らしや環境にひかれて観光客などが集うなら、それが東京のあるべき姿ではないでしょうか。

都民が置き去りに競れています。外国人やLGBTなどへの過剰な配慮は、窮屈さを覚えるとともに、まるで今までの価値観に欠落があったように刷り込まされています。都政に向かう批判にしても、都庁舎のプロジェクションマッピングが直ちにNGなのではなく、それが都民を思ってやったとは到底思われなところが根底にあります。マ

災害対策、自信と誇り、
ゆとりある暮らし、
外国人に対する過剰な配慮の払拭、
都民の声を素直に取り入れる。

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野へ）の配分



課題を解決するための重要政策

第1優先

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

政策

誰もが希望を持てる
教育・子育て
環境の整備

都政の
見える化・分かる化

数値
目標

希望する全ての人
が出産・子育てでき、
若者が自由に
進路を選べる社会へ

東京都の
YouTubeチャンネル
登録者数100万人

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

政策

徹底した若者支援

歴史・公民教科書の採択(自虐史観の払拭)

数値目標



2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

期限

2028年(任期)

2028年7月まで

分野

教育・子育て

行政・議会改革

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

期限

2年

分野

徹底した若者支援

教育・子育て

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

予算

4年間で8兆円

現状の広報関連費用
（広告等収入によって
減額も可能）

手段

無痛分娩費用への助成、保育料無償化の第一子への拡大、子育て世帯の家賃負担軽減など、社会全体で支える子育て支援を更に充実させるとともに、大学生向け奨学金制度や東京都版海外留学制度の創設などにより、所得の多寡に関係なく、志ある学生が世界に羽ばたける環境づくりを一層強力に進めていきます。

積極的な情報発信と徹底した情報公開によって、都民の興味・関心を都政へと向かわせる。加えて、首都としてのあり方を示し、全国からの注目も集める。

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

予算

手段

国と協力して非正規格差の解消に取り組めます。公契約条例で、東京都と契約する企業に、働く人の待遇の改善を要請します。あわせて、3.2万人いる東京都庁の非正規職員について、専門職から順次、正規雇用へ転換していくなど、待遇改善を進めます。

教育委員会の人選、教科書採択と決定する人たちの人事について観て行く

課題を解決するための重要政策

第2優先

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

政策

自然災害など
あらゆる危機から
都民の命を
守る危機管理

災害リスクへの
対応

数値
目標

都民の生命を最大限守るとともに、都市の被害を最小限に抑え、機能を早期に回復する東京へ

防災対策（備蓄等）
の実施率50%、
財政調整基金1兆円

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

政策

教育・子育て

地域ごとの消防団の
育成、ほか
(災害に強い町づくり)

数値
目標



2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**2**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

期限

2040年代

2028年7月

分野

安全・防災
震災復興

安全・防災
震災復興

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

期限

1年目から

分野

教育・子育て

安全・防災
震災復興

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

予算

17兆円（概算）

1,300億円
(東京強靱化推進基金)

手段

「備えよ、常に」の精神の下、木造住宅密集地域の解消促進、無電柱化、都内で900万人が住むマンションの防災、避難所生活は厳しいという常識に挑む「避難所改革」、線状降水帯などに備える新たな調節池の整備、シェルター整備、富士山の降灰対策など、最悪の事態も想定し、危機管理を徹底強化していきます。

自助・共助・公助の役割分担を明確化し、それぞれに必要な準備を促す。投資対効果の悪い事業を廃止し、財政調整基金の積み立てを進める。同時に、官民を挙げて金融・資本市場を活用したリスク移転を推進し、復旧・復興に対する財政的な準備（リスク・ファイナンス）を強化する。

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

予算

手段

保育、教育、医療、介護の現場で働く人たちの奨学金返済の支援を進めることで、負担を減らしていきます。DXやサポートスタッフの活用で、教師の付随業務を減らし、子どもとの時間を増やします。子どもが多いいる世帯（住民税非課税世帯）への「家賃補助制度」をつくります。

各区、多摩地区、離島など各地方の特性を踏まえて育成する。

課題を解決するための重要政策

第3 優先

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

政策

東京の経済を支える、
働く方々への支援

学校環境の改善

数値
目標

本格的な経済の
好循環の創出

離職率3%以下
(2020年度2.8%)

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

政策

行政・議会改革

外国人起業家の
資金調達支援事業の
見直し(廃止)

数値
目標



2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

期限

2028年(任期)

2028年7月

分野

労働

教育・子育て

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

期限

1期中

分野

行政・議会改革

産業政策

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

小池ゆりこ

石丸伸二

予算

4年間で3兆円

700億円

手段

33年ぶりの高水準となる賃上げが報じられる一方、長期化する物価高で厳しさを増す都民の暮らしを支えるため、物価高対策をしっかりと実施していきます。そして、経済の本格的な好循環には、中小企業の賃上げ、地域経済の活性化が不可欠であり、東京の経済を支える、働く方々への支援をさらに強化していきます。

小中学校の給食費無償化、給食支援員・学校用務員の配置で教職員の働き方改革を促す。

2024年東京都知事選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

蓮舫

田母神としお

予算



手段

「東京版・行政事業レビュー」を導入し、予算がどこで何にいくら、どのように使われているのか明らかにします。あわせて意思決定プロセスを透明化し、誰もがチェックできるガラス張りの都政をつくり、それを新たなビジネスチャンスにつなげていきます。また、行革で生み出した財源は、他の必要施策に振り向けます。

外国人優遇から日本人、都民優遇に切り替える。